

# 家庭でできる学力アッププロジェクト

令和7(2025)年7月  
栃木県教育委員会

県教育委員会では、小学校4・5年生、中学校2年生を対象に「とちぎっ子学習状況調査」(教科に関する調査と質問調査)を実施しています。ここでは、今年度の調査結果の分析から、夏休みを前に保護者の皆様にお子さんと一緒に考えていただきたい内容について提案します。

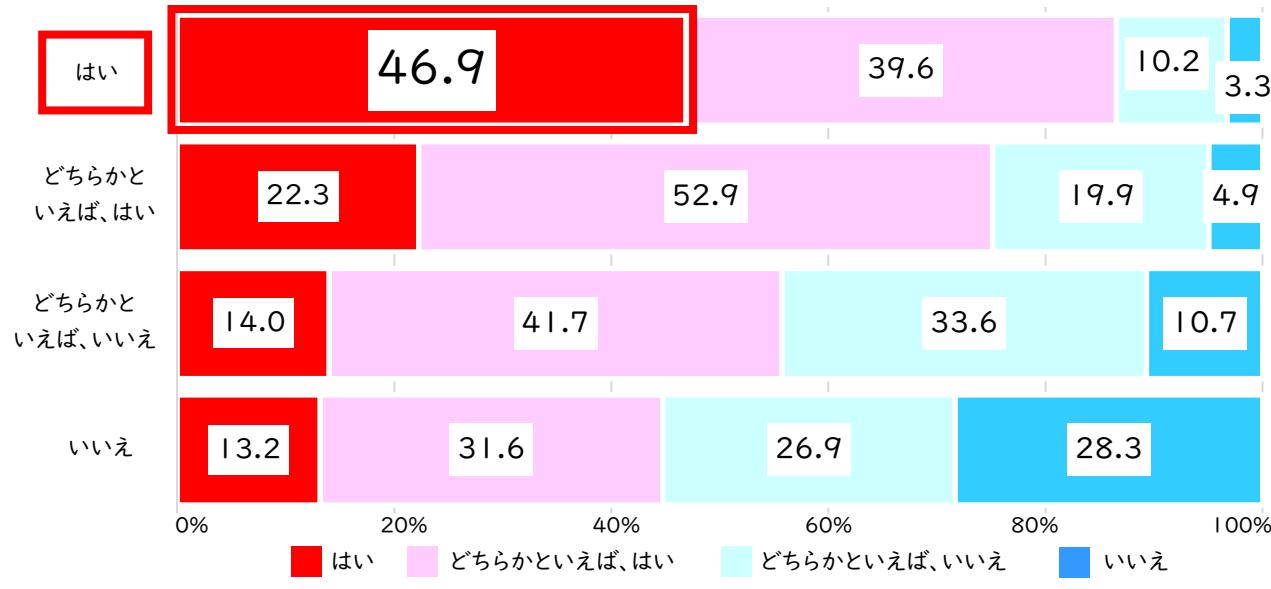
お子さんと、学習について話をしていますか?



今年度の質問調査の結果を分析したところ、「家の人と学習について話をしている」という質問と「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」という質問には、下のグラフのような関係が見られました。

家で、自分で計画を立てて勉強をしている

家の人と学習について話をしている



令和7(2025)年度とちぎっ子学習状況調査児童生徒質問調査 小学校第5学年



このグラフから、どのようなことが分かるのですか?



赤色の四角囲みの部分に着目すると、「家の人と学習について話をしている」という質問に対して「はい」と回答した児童の中の46.9%の児童が、「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」という質問に対して、「はい」と回答していることが分かります。



なるほど。つまり、家の人と学習について話している子供ほど、計画的に学習に取り組んでいる傾向にあるということですね。※

親が、学校でどんな学習をしているのかと関心をもったり、学習で困っていることはないかを聞いたりすることは、子供が自ら進んで学習に取り組むにつながるようですね。夏休みの学習計画について一緒に考えたり、学習の進み具合を確認したりするだけではなく、子供の頑張りを認め、励ますなど、前向きになれるような働きかけをしていきたいです。

※ 調査対象の他学年においても、同様の傾向が見られました。

調査結果の分析から、「家の人と学習について話をしている」、「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」のいずれの質問に対しても、「はい」と回答している児童生徒の方が、どの学年、どの教科においても教科に関する調査の正答率が高い傾向が見られます。

右の二次元コードから、「家庭でできる学力アッププロジェクト ウェブサイト」に接続することができます。このサイトには、これまで発行したリーフレットのバックナンバー等を掲載しています。

